

高旗健次・ドミトリー フェイギン・ 新見フェイギン浩子 室内楽の午後

Kenji Takahata, Dmitry Feygin, Hiroko Niimi-Feygin Kammermusikonzert

2012年 3月3日(土) 開演15:00
(開場14:30)

広島県民文化センター

〒730-0051 広島市中区大手町1-5-3 TEL:082-245-2311



- Program*
- ✳ブルッフ作曲：ロマンス ヘ長調 作品 85 (ヴァイオリン編曲版)
 - ✳シューベルト作曲 (ピティゴルスキー編曲)：序奏・テーマとバリエーション
 - ✳ハルヴォルセン作曲：ヴァイオリンとチェロのためのヘンデルの主題による パッサカリア
 - ✳チャイコフスキー作曲：ピアノ三重奏曲 イ短調 作品 50

「ある偉大な芸術家の思い出のために」

■入場料：一般 /2500 円 学生 /1500 円 (全席自由席) ■12月26日(月)より販売開始

■チケット取扱い

●広島市内/ヤマハ広島店 (Tel:082-244-3779)、広島県民文化センター・フロント (Tel:082-245-2311)

広島大学 生協 霞キャンパス内 (霞コープショップ 1F Tel:082-254-1406)

広島大学 生協 東千田キャンパス内 (千田コープショップ Tel:082-249-8601)

●東広島市内/キハラ楽器 (フジグラン東広島店 2F Tel:082-423-6478)

広島大学 生協 東広島キャンパス内 (北1コープショップ Tel:082-423-8285、

西2コープショップ Tel:082-424-0920)

■主催：広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学講座弦楽研究室

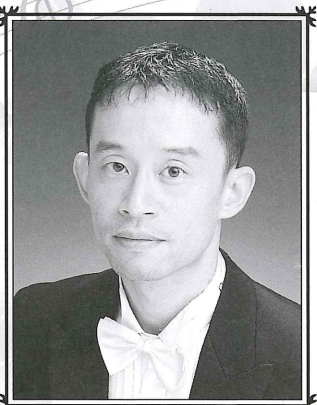
■後援：広島市、広島市教育委員会、中国新聞社、広島大学大学院教育学研究科、

広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学講座、広島大学尚音乐会

■お問い合わせ：リサイタル実行委員会 (Tel:082-424-6831)



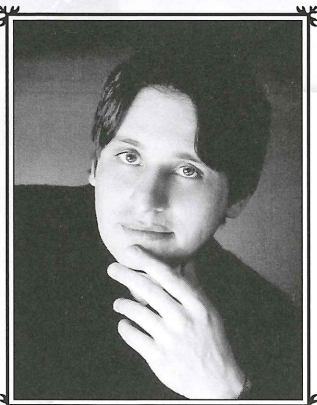
高旗健次・ドミトリー フェイギン・ 新見フェイギン浩子 室内楽の午後



violin * 高旗 健次

Kenji Takahata

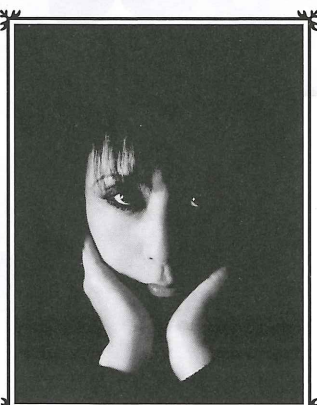
広島大学卒業後、同大学大学院博士課程前期修了。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院芸術家養成課程、及び同大学大学院国家演奏家試験課程ソリスト科修了。ドイツ国家演奏家資格 (Konzert-Examen) を取得。第22回～第25回山陽学生音楽コンクール4年連続第1位。第31回北九州芸術祭に出演。文科省長期在外派遣研究員(ドイツ)1年間。元ドイツ・バーデン州立歌劇場オーケストラ嘱託団員(芸術監督:大野和士 時代)。ドイツでのリサイタルでは「楽曲における細部へのこだわりと内容豊かな全体構成員」、またオーケストラとの共演では「表現力の非常に高い巨匠的な演奏」との評価を得る(いずれもドイツ・バーデン新報紙)。帰国後は定期的にソロリサイタルを開催のほか、ドイツ国立カールスルーエ音楽大学教授のN. エアリッヒ氏とのジョイントリサイタル、オーケストラとの共演、「ちかしアンサンブル」メンバーとして演奏会に出演、またグランドコンサートメンバー(トッパンホール・東京)として演奏会に出演、青森、鹿児島などでも演奏を行うなど、全国各地で意欲的な活動を行う。現在、広島大学准教授(大学院教育学研究科)。岡山フィルハーモニック管弦楽団嘱託団員。市原利彦、小島秀夫、故田中千香士、N. エアリッヒの各氏に師事。



cello * ドミトリー フェイギン

Dmitry Feygin

1968年モスクワ生まれ。父は有名なチェリスト、ヴァレンティン・フェイギン、母は有名なチェロ教師、ガリーナ・ズーヴァレヴァ。モスクワ音楽院中央附属音楽学校のもとで英才教育を受けた後モスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間父にチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事。モスクワ音楽院在学中の1991年、モスクワ院大ホールにて指揮者アレクサンドル・ヴェデルニコフ(現ボリショイ劇場常任)指揮により、チャイコフスキー作曲『ロココのテーマによる変奏曲』でデビュー。これまでにショスタコヴィッチ室内楽コンクール、ヴィヴァ・チェロコンクール(日本)など数々の賞を受賞。ショスタコヴィッチ室内楽コンクールでは、ショスタコヴィッチ夫人より特別にソナタ賞を授与。1986年よりロシア国内外で演奏活動をはじめ、NEW-VIKTRING フェスティバルやCARINTHISHER フェスティバル(奥)、カルマル・フェスティバル(仏、主催はロシア人ヴァイオリニスト、スピヴァコフ)、オレグ・カガン・フェスティバル(露、ナタリア・グッドマン主催)、モスクワ11月芸術祭などに出演。1999年、ロシア人指揮者、イリヤ・ムーシンなどと共演。1995年からはモスクワ・コンサート・フィルハーモニー協会のソリストを務め、モスクワ音楽院附属音楽学校で教鞭をとる。2003年来日。2006年からはモスクワフィルハーモニア協会主催による定期演奏会に毎年、チェロとピアノ、デュオ室内楽のシリーズに新見フェイギン浩子(ピアノ)と連続出演。日本とロシアを中心にソロ、室内楽で活動する。現在、東京音楽大学教授。



piano * 新見 フェイギン 浩子

Hiroko Niimi-Feygin

大阪生まれ。桐朋学園高等音楽学校に入学後、ハンガリー(ブタペスト)、リスト音楽院にてピアノを、ナートル・ジョルジュや、ゾルタン・コチシュなどに師事。1990年より、モスクワ音楽院に研究生として入学。ピアノをドミトリー・パシキーロフ、セルゲイ・ドレンスキー、室内楽を、前モスクワ音楽院院長であったディグラム・アリハーノフ、ヴァレンティン・フェイギンに師事。その間、旧レニングラードで開催されたショスタコヴィッチ室内楽コンクール(デュオで夫であるドミトリー・フェイギン氏と)や、ソロではイタリアのヴィオッチ国際コンクールなどで優勝。1990年より、主にロシア国内で演奏会をはじめ、サンクトペテルブルグオーケストラ、ロストフオーケストラ、サラトフ、マイコップオーケストラなどと共演。モスクワでは、チェリスト、ナタリア・グットマン主催のオレグ・カガンフェスティバルやモスクワ11月芸術祭、プーシキン美術館などのフェスティバルにてドミトリー・フェイギンと共演。他、ピアノトリオやピアノ五重奏など、モスクワソロイスト室内楽メンバーと共演。2005年より、モスクワ・フィルハーモニア・ソサエティーにて演奏活動を開始。2006年より現在に至るまで、モスクワ国立フィルハーモニア協会主催による定期演奏会に連続出演。2010年3月に催された、同シリーズ演奏会では、モスクワフィルハーモニア協会の批評家たちから大変な好評を博した。現在、くらしき作陽大学非常勤講師。